

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	働くことが不安な人及びその家族のための支援事業
資金分配団体名:	一般社団法人SINKa
実行団体名:	NPO法人発達障がい者就労支援ゆあしっぶ
実施時期:	2021年 6月～2022年2月
事業対象地域:	福岡県
事業対象者:	発達障がい者及び引きこもり等本人及び家族

Version 3.2

日付: 2022年3月18日

I. 事業概要

事業実施概要	<p>コロナ禍で真っ先に影響を受けやすい“就労弱者”（例えば、引きこもり、発達障がい、何らかの配慮が必要な方）は、働くことに不安を感じ行動を起こすことに躊躇している。本事業は働くことが不安な人“就労弱者”及びその家族に対して、社会に出て働くために必要なこと、どのような仕事内容や職場環境があるのか等を知ってもらうための事業を行った。</p> <p>1.専門の講師を招き社会の現状を学ぶ講座をオンラインにて開催した。3つのテーマで2クール全6回行った。</p> <p>講師として</p> <ol style="list-style-type: none">1) 就労準備については福岡障害者職業センター2) 社会の現状については、引きこもり支援・若者サポートステーション勤務のカウンセラー3) テレワークについては、株式会社VALTJAPAN <p>2.働くために一般的なビジネスマナーや心構えを学ぶために2つのコースを実施</p> <p>AコースYouTubeでビジネスマナー15章分の動画を配信</p> <p>Bコースワークやロープレを含めたビジネスマナーと自己理解の講座の実施</p> <p>3.オンライン企業スタディツアーの開催</p> <p>福岡の企業32社を取材し、仕事内容や職場の紹介動画をYouTubeで限定配信</p>
--------	---

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>事業自体は、全て実施できた。当初の課題設定として、ターゲットをはたらくことを不安に感じている発達障がい者や引きこもりなどの当事者とその保護者として広報活動を行ったが、想定していたより利用人数が少なかった。発達障がい者は、色んな所で生活しているし不登校から引きこもりになってしまう人もいるので、学校等にも積極的に広報するなど、ターゲットを明確にし活動をするべきだったと思う。また、広報後のアフターフォローももっと丁寧に行い、口コミで広げてもらえるようにしていきたいと思う。</p> <p>本事業で作成した動画は、引き続き活用しブラッシュアップしていき活用していきたいと思う。ご協力頂いた企業とこれからも繋がり見学や職場体験に繋げていきたいと思う。</p>
-------------------	---

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
求職者	就業困難	新型コロナの影響により、働くことに不安を感じる方に企業や社会の現状やビジネスマナー等の情報を得て、自身がどんな業種で働きたいのかを考え、社会資源を使いながら、就職活動を始める	オンライン講座の参加者数 オンラインスタディツアーの視聴回数	社会の現状の講座延べ30名 BMオンライン講座延べ100名 BM講座延べ10名オンラインスタディツアー延べ100名	オンラインスタディツアー延べ602名（再生回数） 社会の現状の講座延べ30名 BMオンライン講座延べ404名（再生回数） BM講座延べ14名	就業困難者に対して働きたい気持ちはあるが、体調が整わないなどの理由で働いていない人もいて、多様な働き方が必要ではないかと思われる。今回テレワークについてのオンライン講座を開いたが、テレワークで働くイメージがなかったが、それが分かってよかったなどの声が上がった。 雇用されるだけでなく、様々な働き方についての情報を渡して行ければと思う
求職者	引きこもり	新型コロナの影響により、働くことに不安を感じる方に企業や社会の現状やビジネスマナー等の情報を得て、現在の状況から一歩踏み出すスモールステップだが、動画で見た業種をHPで検索する。家族と働くことについて話す。本人が少し前向きになれたと家族を感じる	オンライン講座の参加者数 オンラインスタディツアーの視聴回数	社会の現状の講座延べ30名 BMオンライン講座延べ100名 BM講座延べ10名オンラインスタディツアー延べ100名	オンラインスタディツアー延べ602名（再生回数） 社会の現状の講座延べ30名 BMオンライン講座延べ404名（再生回数） BM講座延べ14名	引きこもりの方にとって社会で自分は通用するのかわからない不安があるように思う。BMの講座の中で自身の考えが間違っていたと確信しアルバイトへ一歩足を踏み出した方がいたのは、一つの成果だと思う。今回の取り組みは、障がいのある方に対するプログラムもあったので、引きこもりの方の中には自分には関係ないと思う方もいた。今後参加者が増えるように広報等の工夫や団体との連携が必要である
障害者	学習機会の不足/格差	新型コロナの影響により、働くことに不安を感じる方に企業や社会の現状やビジネスマナー等の情報を得る	オンライン講座の参加者数 オンラインスタディツアーの視聴回数	社会の現状の講座延べ30名 BMオンライン講座延べ100名 BM講座延べ10名オンラインスタディツアー延べ100名	オンラインスタディツアー延べ602名（再生回数） 社会の現状の講座延べ30名 BMオンライン講座延べ404名（再生回数） BM講座延べ14名	地元の企業の情報や業種、働き方など、当事者や支援者保護者に至るまで知る機会や、どうやって情報を手に入ればよいのか等除法の格差を感じた。実施した内容で新たな道を知ることができたという声があったので、さらに情報を得る機会を増やしていきたいと思う

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	<p>動画作成に協力頂いた企業にサポーター企業になってもらう。（賛助会費）</p> <p>ゆあしっぶは利用者の見学や実習に同行する。</p> <p>実習後に利用者を採用することがあった場合、ゆあしっぶが協力する。</p>
考察等	<p>コロナ禍働くことに不安な人に対する事業を行った。想像はしていたが、必要な人に必要な情報が伝わっていないことを、事業後のアンケートにて再確認した。それは就職活動をする本人だけではなく支援する人が企業のことをあまり知らないという状況である。関わりのある企業等の情報は持っている、それ以外の企業や業界の情報が無いために職域が広がっていかないのではないかと感じる。そのことは、就職のミスマッチに繋がる危険性があるかと思う。働いた経験のない方については、働いてお金を得るといった体験をすることでモチベーションも変わって来るかと思う。いきなり就職というより、安心のできる環境でさらに時給の発生する働き体験をしながら、徐々に就職活動をしていくことが必要だと思う。</p> <p>今回は必要な人に届けられていないような部分があったので、行政や他団体とも連携し細やかな取り組みをしていくことが大事だということが分かった。</p>

V. 活動

活動	進捗	概要
1社会の現状を学ぶ講座	計画通り	予定通り3名で2回ずつオンライン講座を行った
2ビジネスマナー講座	計画通り	予定通りビジネスマナーAコース（YouTube限定配信）Bコース（会場参加）をフォローアップを含め行った
3オンラインスタディツアー	ほぼ計画通り	32社の企業を取材し、31社の動画を期間中に配信。近日中に残り1社も配信予定

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	<p>この事業により、「働くまでの一歩」を踏み出してほしいと想定していたが、実際に企業とつながり、アルバイトを始めた方もいた。</p>
---------------------	---

Ⅶ. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	<p>終了後アンケートより当事者：アンケートよりビジネスオーナー講座を通して、誰かとコミュニケーションを取るうえで、もっと自信を持ってもいいかもしれないと思いました。自分は何が得意で何がどのように苦手なのかについて、以前より解像度が増したこと、若者サポートステーションやよかよかルームについても、どのような支援を受けられるのか、その仕組みがわかったことがよかったです。インタビューで聞いた話を自分と照らし合わせて考えることができました</p> <p>事業所等での利用：ビジネスオーナーの動画視聴後利用者の意識が変わり敬語を使用するようになった。</p> <p>保護者：「仕事=会社に通勤する」という固定観念にとらわれていましたが、テレワークという選択肢があること、そして、サポートしてくれる人がいるということがよくわかりました。どんな仕事があるのかを具体的に教えていただいたのでイメージしやすかったです。対面での講座は良い刺激になったようで、その頃から外に向かう姿勢が生まれてきたことは間違いありません。等参加した方に少し変化が見られたようです。</p> <p>今後は、企業の見学や働き体験等を行いさらに就職活動へ迎えるように支援をしていきたい。</p>
-----------	---

Ⅷ. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果

Ⅸ. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

事業費		計画額	実績額	執行率
直接事業費		3,312,300	3,306,931	99.8%
管理的経費		762,000	761,780	100.0%
合計		4,074,300	4,068,711	99.9%
補足説明				

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	ゆあしっぶのHPに掲載 https://www.yourship.jp/ （助成事業） 理事長のFBに掲載 2021.7.9、7.12、7.22、7.31、8.8、9.13 (https://www.facebook.com/yumiko.kuwahara.5/)
2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	チラシの作成、動画の作成
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	チラシにシンボルマークを取り入れた 作成した動画すべてにシンボルマークをいれた（YouTubeで限定公開）
4.報告書等	事業完了報告書

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	全て公開した	
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	いいえ	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 （実施予定の場合含む）（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 外部監査	
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	